

人工林における森林整備の状況

森林整備と財源のあり方検討委員会 第2回技術専門部会

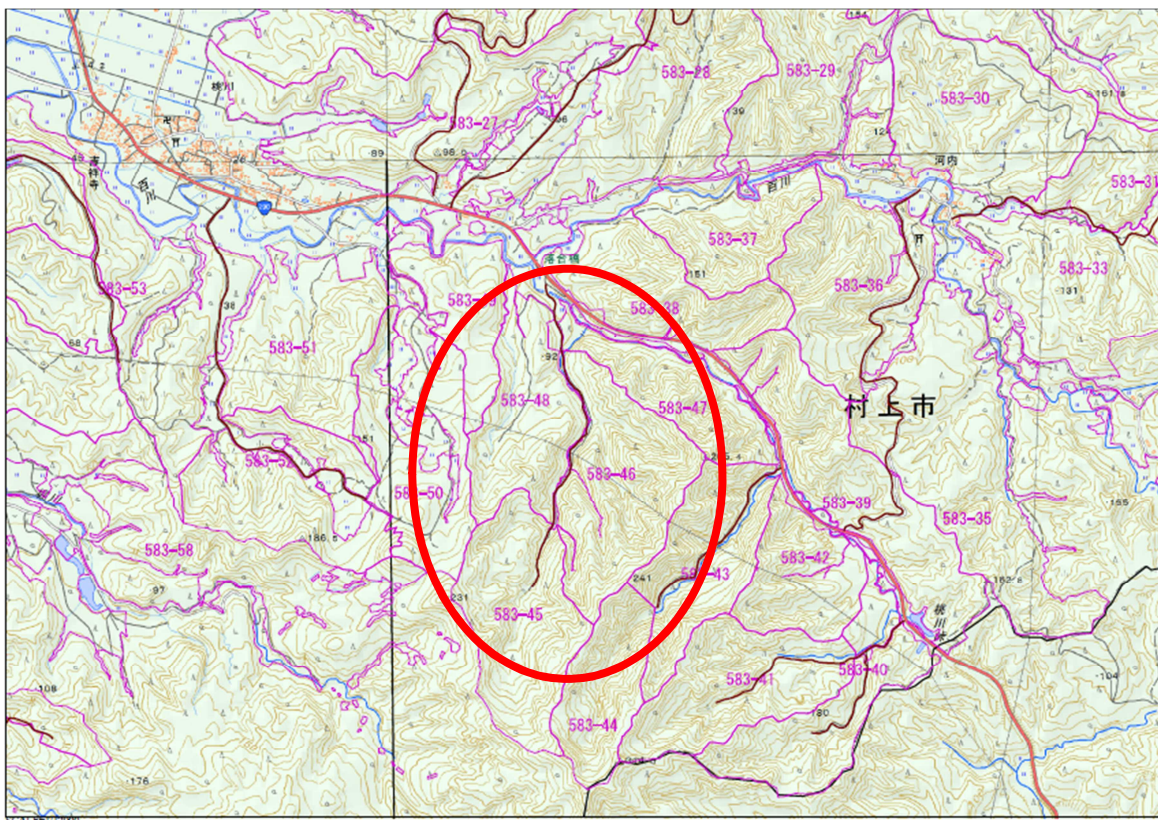
個別資料（現地視察1）

【視察地の概要】

	柱沢地区	大久保地区	根小屋地区
最深積雪深	93cm（過去5年平均）、178cm（2012年過去最深）（下関観測地）		
平均標高	100m未満	100～200m未満	200m未満
平均傾斜	20°	25°	25～40°
主要樹種	スギ	スギ	スギ
林齢	24～73	35～65	26～65

※経営が可能な森林、経営が困難な森林の状況、対象の判断基準についてヒアリング
 （説明：（有）丸実）

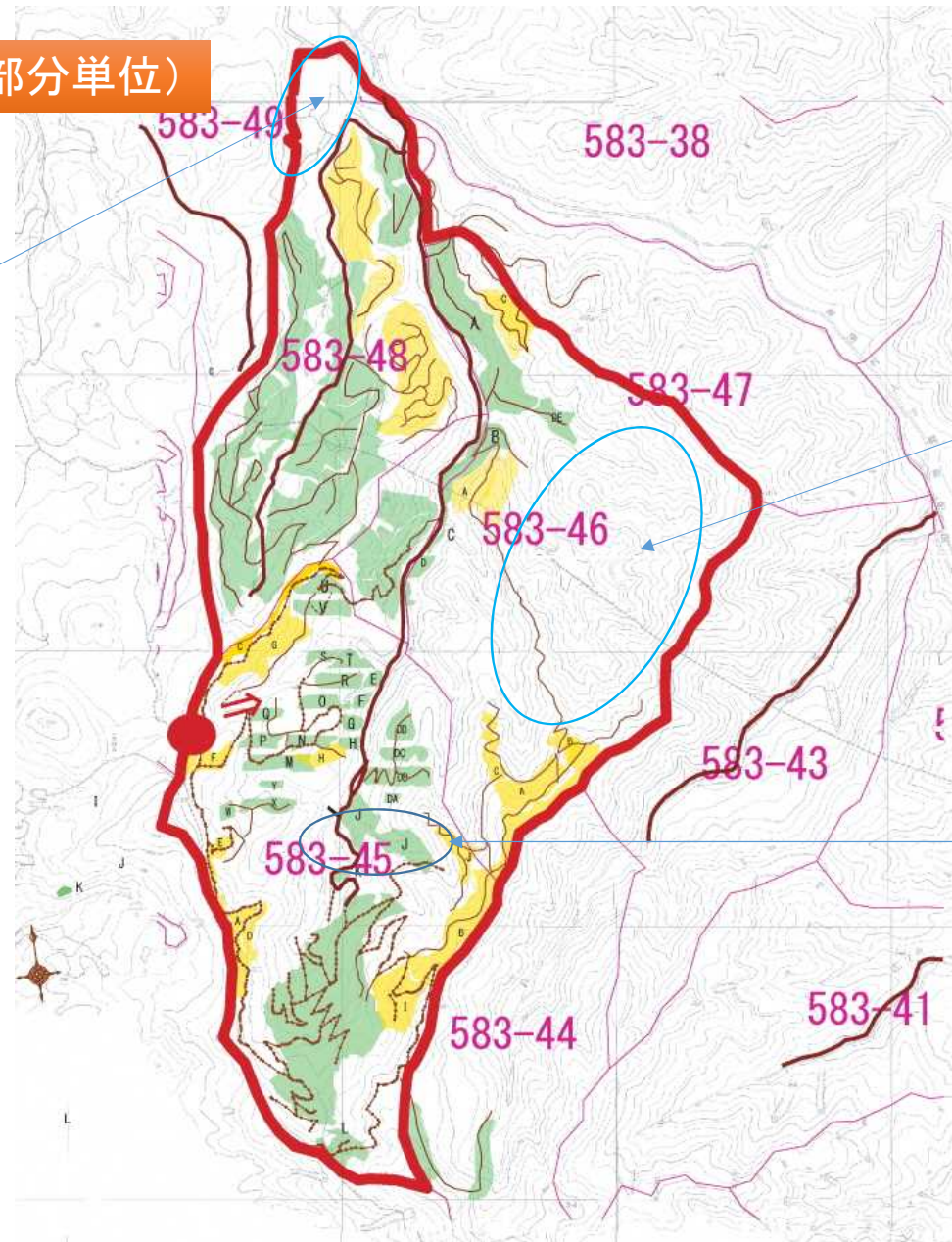
【位置図】



林業経営に適さない森林（部分単位）

③経営に適さない箇所 育林可能

- 伐採跡地(有用木がない)
- 主伐+再造林ができない



①森林経営に適さない箇所 架線による伐出は可

- 急峻で作業道が開設できない
- 一定の樹種ではない
- 有用木が少ない

②森林経営に適さない箇所 架線による伐出は可

- 急峻で作業道が開設できない
- 隣接する広葉樹林が有用木がない



作業道

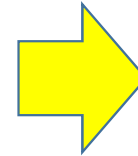
①は、急峻で有用木が少なく架線集材は可能だが、収益は見込めない。

広葉樹でも同一樹種が生育していれば活用も可能。

②は、切捨間伐を行いながら架線による主伐は可能。

林業経営に適さない森林

- 地利の悪い場所。
- 地盤の安定しないところ。
- 小規模所有者が多いところ。
- 伐採跡地。
- 生育樹種がはっきりしないところ。



経営に適した森林にすること可能。

- 林道・基幹道の開設
- 新たな補助事業
- 育林技術の研究

①経営に適した森林

②経営に適した森林にすることが可能な森林

③経営に適さない森林